

## 感染性胃腸炎に注意しましょう！

### ～感染性胃腸炎とは？～

細菌やウイルスなどの原因によって嘔吐や下痢などを引き起こす胃腸の疾患です。  
県南保健所管内では令和元年に758件、令和2年に363件発生しています。  
特にノロウイルスによる感染性胃腸炎は冬季に流行します。  
みんなで手洗い、標準予防策を徹底し、症状が出た際には早めに受診しましょう。

### ～ノロウイルスによる感染性胃腸炎について～

#### ◆感染経路

##### 【食品からの感染】

- ・感染した人が調理などをして汚染された食品
- ・ウイルスを蓄積した加熱不十分な二枚貝など



##### 【人からの感染】

- ・患者のふん便やおう吐物からの二次感染
- ・患者が触れたドアノブ、手すり、便座からの感染
- ・おう吐物などが乾燥し、浮遊することによる感染



#### ◆潜伏期間

感染から発症まで24～48時間

#### ◆主な症状

吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱（症状のない場合や軽い風邪のような症状のこともある）

#### ◆予防方法

- ・食事の前やトイレの後などには必ず石けんで手を洗いましょう。
- ・下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

### 感染を広げないために適切におう吐物を処理しましょう！！

△ ノロウイルスは乾燥すると空中を漂い、口に入って感染することがありますので、速やかに処理しましょう。

- 1 使い捨てのマスクやエプロン、手袋（二重）などを着用する。
- 2 おう吐物中のウイルスが飛び散らないように、おう吐物にペーパータオル等を被せ、0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒薬を静かにかけ、外側から内側に拭き取る。
- 3 拭き取ったおう吐物とはずした外側の手袋をビニール袋に入れ、十分に浸る量の0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液を入れて密閉する。
- 4 0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒薬に浸したペーパータオルで、おう吐物を拭き取った場所を覆う。
- 5 0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒薬に浸したペーパータオルで半径2mの範囲を拭き取り、10分ほどしたら水拭きする。
- 6 使用したの手袋、エプロン、マスクなどをビニール袋に入れ、密閉して廃棄する。
- 7 処理が終わったら、ていねいに石けんで手洗いをする。（アルコール類の消毒薬はあまり効果がありません。）

#### ※ 必要物品

- ・使い捨て手袋 2組
- ・使い捨てエプロン
- ・サージカルマスク
- ・0.1%次亜塩素酸ナトリウム 2リットル  
（0.1%は水500mlに次亜塩素酸ナトリウム10ml（5%原液））
- ・バケツ
- ・ペーパータオル
- ・ゴミ袋
- ・手順書

